

路線バスの危機にどう対応するか

専門家と考える学習会



生駒市のバス問題は解決したと考えている市民が少なくないですが、実際は1路線への補助に留まっており他の路線の利用増に向けた対策は手つかずで、今後問題が再燃する可能性があります。バス問題は全国的で“運転士不足だから仕方ない”という声もある中、再びあのような問題が起きないようにするためには具体的にどうすべきか、公共交通問題研究の第一人者をお招きしてお話を伺います。貴重な機会となりますのでぜひお越しください。

日時

2026年

1月25日 日

14:00-16:30

会場

あすか野自治会館
 (あすか野センターバス停下車)

事前申込不要・参加費無料

 問い合わせはあすか野自治会事務所または
 メール ikomabus@gmail.comまで


講師

近藤 宏一教授

 (立命館大学
 経営学部)

1966年生まれ。1989年立命館大学経営学部卒業。同大学院を経て、1997年に立命館大学専任講師。助教授・准教授を経て現職。多年にわたり公共交通に関する研究に携わる傍ら、近年は議員への講演や自治体向け雑誌、テレビ出演などで路線バス問題の解説にも努められている。

2024年の木津川市南加茂台自治会の招きによる学習会は、その後の同地での奈良交通バス路線存続に役立った。市民にも分かりやすい説明が定評。